

交野の財政は改善の方向

市が昨年8月に発表した「財政健全化計画の見直しについて」では、平成23年度以降の見直しについて「人件費の削減、起債償還が順次終期を迎え、収支は徐々に改善」との旨を述べています。

また、財政健全化法にもとづく下水道特別会計の指標は、「経営健全化基準」以下の数値であり、問題がありません。

値上げしなくても、やっつけていける

下水道事業に今まで通りの税金を支出すれば、使用料金の値上げをおこなわなくても、下水道会計は問題がありません。

一般会計から今までと同じ程度の金額を繰入れすれば、値上げしなくてもやっつけていけます。



市は、実質収支8億1千万円の赤字を平成30年度になくす計画をたて、使用料の値上げを計画していますが、一般会計から下水道会計に今まで通りの繰入金をおこなえば、値上げの必要はありません。



値上げすれば、府下で2番目に高い料金

交野市の下水道使用料は、大阪府下で4番目に高い料金であり、値上げ案が実施されれば2番目に高い料金となります。

物価も値上され、社会保障の切捨てと合わせ、暮らしが大変になってきています。市民の暮らしを守るのが市政の役割ではないでしょうか。



■下水道会計への一般会計からの繰入金 (千円)

年度	実績	一般会計からの繰入金額	値上げ後の使用料収入増加額	使用料収入増加額を繰入予定額に上乗せした金額
H15年	実績	720,000		
H16年		660,000		
H17年		500,000		
H18年		410,726		
H19年		493,000		
H20年	予定	400,000		
H21年		332,000	111,942	443,942
H22年		337,000	111,960	448,960
H23年		328,000	114,160	442,160
H24年		317,000	156,413	473,413
H25年		316,000	150,005	466,005
H26年		316,000	145,751	461,751
H27年		316,000	145,220	461,220
H28年		303,000	140,522	443,522
H29年		245,000	138,775	383,775
H30年		195,000	136,408	331,408

都市環境福祉常任委員会

自転車駐車場の使用料値上げ案を可決

日本共産党だけが反対!

6月6日の都市環境福祉常任委員会、日本共産党のさらがい議員が質疑・討論をおこないました。

【質問】自転車駐車場は毎年黒字の経営になっており、料金を値上げする必要はないと考えるが。

【答弁】運営経費以外にも、用地の取得や整備にも費用がかかっており、受益者負担の面から料金の引き上げをお願いしたい。

【質問】用地の取得や整備については、市の一般会計(税金)でおこなうべきで、整備費用まで使用料に転嫁すべきではない。そもそも、何のための値上げなのか。

【答弁】近隣市より低い料金を他市なみに引き上げ、市の自主財源を増やすことが目的である。

【意見】物価や税金も上がり、交野市は公共施設の利用料値上げなど市民負担を増やすなかで、黒字経営の分野まで、値上げをするべきではない。

環境や健康面からも、自転車利用のよさが見直されているいま、市は、低い料金で利用しやすい駐輪場を市民に提供すべきである。よって使用料の値上げに反対する。

審議の結果、日本共産党以外の委員が賛成し可決されました。20日の本会議で最終的に採決されます。

■自転車駐車場の1カ月使用料(市の値上げ案)

形態	場所	現行		値上げ後	
		自転車	原付	自転車	原付
屋根なし	交野市駅(駅前・東・ぎんりん)				
	河内森駅(西)	1,200	2,000	1,500	2,500
	河内磐船駅(南・北)				
屋根付	郡津駅(西)	1,700	2,500	1,800	2,800
高架下	星田駅(駅前・西・東)	1,200	2,000	1,600	2,600
	郡津駅(跨線橋下)				
駅遠方	河内森駅(東)	1,000	1,800	1,300	2,300
	河内磐船駅(東・新北)				

* 交野市駅前原付なし * 学生は300円引き * 一時利用は変更なし